



# 未来 2019

## 審査員のご紹介

## 審査員のご紹介

(五十音順・敬称略)



### 東 博暢

株式会社日本総合研究所 リサーチ・コンサルティング部門 プリンシパル / 融合戦略グループ長  
Incubation & Innovation Initiative / 「未来」統括ディレクター

ベンチャー支援や社会企業家育成支援、ソーシャルメディアの立ち上げを経て、2006年日本総合研究所入社。情報通信分野 (ICT) を中心に、PMI、新規事業策定支援、社会実証実験を通じた法制度改正・ガイドライン策定支援等を実施しており、近年ではICT融合領域として、ヘルスケア分野やスマートシティ分野の都市開発支援等のコンサルティング活動を実施している。加えて、政府やSRI international等の海外技術系シンクタンクと連携し、大学・研究機関等を中心にロボット・AI・IoTやバイオ・ライフサイエンス等の科学技術の商業化を推進するオープンイノベーションプログラムを運営し、研究開発型ベンチャー支援や起業家支援に取り組んでいる。更に、株式会社三井住友銀行と共に、日本の成長戦略の基盤となる先進性の高い技術やビジネスアイデアの事業化を支援しイノベーションを推進する異業種連携の事業コンソーシアム「Incubation & Innovation Initiative」を組成し、全体を統括。産業界主導によるオープンイノベーションエコシステムの構築に尽力している。 <http://mirai.ventures/>



### 安西 智宏

株式会社ファストトラックイニシアティブ 取締役・マネージングパートナー

生命科学の博士号取得後にアサー・D・リトル (ジャパン) 株式会社に入社し、国内外のバイオ企業の経営コンサルティング活動に従事。2006年 (株) ファストトラックイニシアティブに参画。ファンド運営、投資案件の発掘から企業設立、育成、投資回収までの幅広い業務を担当。他に、東京大学トランスレーショナル・リサーチ・イニシアティブ特任准教授、京都大学物質・細胞統合システム拠点客員准教授を歴任。2012年には内閣官房医療イノベーション推進室に在籍。経済産業省「バイオベンチャーと投資家の対話促進研究会」委員。東京大学理学部生物学科卒業。同大学大学院新領域創成科学研究科博士課程修了。マサチューセッツ工科大学 (MIT) スローン校AMP修了。



### 伊藤 毅

Beyond Next Ventures 株式会社 代表取締役社長

2003年東京工業大学大学院 理工学研究科化学工学専攻修了後、(株) ジャフコ入社。大学発の技術シーズ段階からの事業化支援および投資活動に関して多数の実績と経験を有する。2014年8月に Beyond Next Ventures 株式会社を創業。2015年2月に組成した1号ファンド、2018年10月に組成した2号ファンドを合わせ、100億円超のファンドを運用し、主に技術系スタートアップへの出資・支援を行う独立系アクセラレーターとして活動。



### 太田 洋哉

SMBCベンチャーキャピタル株式会社 執行役員 投資第一部長

1989年三井銀行入行 (現:三井住友銀行)。1997年10月よりベンチャーキャピタルへ出向。以後19年間ベンチャー投資に従事。2009年4月大和SMBCキャピタル投資第四部長、2010年7月SMBCベンチャーキャピタルVC投資第三部長、2015年4月より現任。投資担当者として65社に投資を行い20社がIPOを果たす。創業期投資でのIPO事例としては、オイシックス・タリーズコーヒージャパン等。リード案件ではコロボス・バリューデザイン等がある。九州大学法学部卒 青山学院大学専門職大学院国際マネジメント研究科 (MBA)



### 大津 寛淑

株式会社三井住友銀行 成長事業開発部 SMBC Startup Hubセンター長

1986年住友銀行入行 (現:三井住友銀行)。スタートアップ支援を現場・本部・グループ会社のSMBCベンチャーキャピタルで20年以上経験。直近では、関西において自治体、大手事業会社、研究機関と連携し、産官学によるオープンイノベーションのスキーム構築に注力。2018年10月から、SMBCグループが新設した渋谷のスタートアップ先端拠点「SMBC Startup Hub」初代センター長に就任。同志社大学商学部卒。



## 垣内 新吾

日本ベンチャーキャピタル株式会社 西日本支社 担当部長

1991年大阪大学工学部原子力工学科を卒業後、住友銀行に入行（現三井住友銀行）。2015年4月よりSMBCベンチャーキャピタル（株）関西投資部長を経て2017年10月より現職。銀行では主に法人営業に従事した他、ベンチャー企業の支援業務にも従事。大阪大学に出向し産学連携や大学発ベンチャー支援を行った経験を活かし、ベンチャーキャピタルではアカデミア発のベンチャー企業中心に出資・支援を行う。



## 栗本 雄太

株式会社三井住友フィナンシャルグループ ITイノベーション推進部 シリコンバレー・デジタルイノベーションラボ室長

1996年住友銀行（現三井住友銀行）入行。エクイティ出資やファンド・ストラクチャーを活用した企業の再生・海外進出支援・デジタルイノベーションを含む成長戦略支援の経験豊富。現在はシリコンバレー・デジタルイノベーションラボ室長として、SMBCグループのITイノベーションやデジタルイノベーションを推進。慶応義塾大学商学部卒 グロービス経営大学院大学経営学修士（MBA）



## 善光 洋文

三井化学株式会社 次世代事業開発室 室長

1991年京都大学工学研究科高分子化学専攻修士課程修了後、三井東圧化学（現、三井化学）に入社。自動車用材料開発、精密射出成型、電子・情報材料用フィルムのプロセス開発を担当。2002年成形加工学会青木固技術賞を受賞。2009年より三井化学ファブコ（現三井化学東セロ）にて産業用・食品用フィルム・シートの開発に従事。2016年三井化学東セロ新事業開発室長を経て、2017年三井化学次世代事業開発室長として新事業の創出を担当。専門はポリマーレオロジーおよびポリマー加工プロセスエンジニアリング。



## 曽我 弘

株式会社カピオン 代表取締役

新日鉄退社後、1991年～2010年までシリコンバレーに移住。画像圧縮技術開発のベンチャー企業Eidesign Technologies, Inc. を設立、経営。1996年にSpruce Technologies, Inc. を設立。DVDオーサリングシステムを開発・商品化し、今日のDVD普及の一翼を担う。旗艦商品「DVDMaestro」は最初の顧客がDisneyでハリウッドでのデファクト標準になった。最終的に、同社をAppleへ売却。その後SVJEN（NPO）を設立し、バイオ関連ビジネスや、日米のスタートアップのメンターとして支援活動を行う。2010年末に帰国後、能登左知と（株）カピオンを共同で設立しNEDOと協力してスタートアップ企業支援を行う。2012年Blue Jay Energy をシリコンバレーに設立、日本の技術をもとにグローバル大学リーディング大学院で起業講座を担当（2012～現在）。高校生を対象とした国際起業家育成イベント「GTE® 2016 イノベーションチャレンジ」を和歌山市で開催。



## 野内 敦

株式会社オプトベンチャーズ 代表取締役

株式会社オプト（現株式会社オプトホールディング）創業メンバー、取締役。2006年から全社COO、その後数々の戦略子会社の設立・運営に携わる。2013年より投資育成事業の責任者として陣頭指揮を執り、出資先への経営指導やビジネスモデル開発を支援し、大きな成果を納める。現在はオプトベンチャーズ代表取締役を兼務。オプトベンチャーズの投資領域としては、シェアリングエコノミー、ダイレクトトレーディング、ディスプレイテクノロジーの重点3領域を掲げる。



## 長谷川 和宏

株式会社リバネス 執行役員CKO

株式会社リバネス執行役員CKO、合同会社ユージェナSMBC日興証券リバネスキャピタル業務執行役、株式会社グローカリンク代表取締役。ならびに同社をGPとした次世代科学技術育成ファンド投資委員。NEDO専門カタライザー。2005年4月にリバネス社に入社。リアルテック分野のシードアクセラレーションプログラム「TechPlanter」を立ち上げ、新規事業創出や産学連携事業などを行う。2012年より投資育成事業を行う株式会社グローカリンクの代表取締役に就任。2015年より合同会社ユージェナSMBC日興リバネスキャピタルの業務執行役兼キャピタリストとして、主にシード・アーリーステージのテクノロジーベンチャー企業の支援を行なっている。また、墨田区の町工場3500社を訪問し、多数の町工場ネットワークも有するなど、試作・量産化の支援なども実施。



## 平田 幹人

日本電気株式会社 技術イノベーション戦略本部 主席主幹

京都大学大学院情報工学専攻を卒業後、NECに入社。大規模システム開発、機械翻訳ソフトウェア開発、インターネットサービス企画に従事後、1996年にシリコンバレーに出向し、CVC活動に関わり、ベンチャーとの連携を推進。2001年に帰任後、経営企画部にてM&A及びVCとの連携、さらにEコマース事業、マーケティング、全社戦略投資の運用、研究企画に携わり、2008年から3年間、プリンストンの北米研究所にて研究成果の事業化に従事。その後、パーソナル向けの新事業企画、事業売却に携わった後、2014年から、北米経験を踏まえ、国内外のVC、ベンチャーとの連携・投資など、コーポレートベンチャーリング活動に取り組んでいる。



## 牧野 成将

株式会社 Darma Tech Labs 代表取締役

2005年フューチャーベンチャーキャピタル(株)、2009年(財)京都高度技術研究所のインキュベーションマネージャー、2011年(株)サンブリッジのインキュベーション施設「GVH Osaka」の立ち上げやIT分野のシードステージ企業への投資活動を行う。2015年8月、京都試作ネット等の日本の中小企業と連携しながらハードウェアスタートアップの試作支援「MakersBoot Camp」を行う株式会社Darma Tech Labsを創業。2017年7月にハードウェア/IoTスタートアップの試作と投資を行う国内初のファンド「MBCShisakuファンド(20億円強)」を設立して国内外のハードウェアスタートアップに投資を行う。



## 松田 一敬

合同会社SARR 代表執行社員

慶応大学経済学部卒業後、山一証券(株)証券引受部を経て、同社ロンドン現地法人にて中東、アフリカ、東欧諸国等を担当する。その後、国内初の地域密着型ベンチャーキャピタルを設立。2000年6月に札幌Biz Cafeを設立、サッポロバレーのITベンチャーを支援。地元IT企業の株式公開に繋げる。2000年9月、国立大学発ベンチャー第1号(北海道大学発)の設立に関与する等、大学発ベンチャー支援の国内の草分け。製薬企業向けマイルストーン契約の締結等、知財の事業化の実績を積む。2011年4月に合同会社SARRを設立。起業家教育、ハイテクスタートアップの支援等を行っている。



## 三谷 太郎

ダイキン工業株式会社 テクノロジー・イノベーションセンター 副センター長

2011年京都大学農学部卒、ダイキン工業入社。入社後、経理財務部門にて管理会計業務に従事、2012年に買収した米国住宅用空調大手「Goodman社」のPMI等に携わる。2015年に社外留職で投資銀行業務を経験。帰任後M&Aを担当した後に、2017年に技術開発とオープンイノベーションのグローバル拠点である「テクノロジー・イノベーションセンター」副センター長に就任(現職)。M&Aや出資を軸としたベンチャーやVCとの連携等、コーポレートベンチャーリング活動の推進を担当している。



## 山下 竜弥

住友不動産株式会社 ビル営業部長

1992年法政大学経済学部卒業、住友不動産入社。ビル事業本部にて、テナント営業、ビル用地の取得・開発、ビル管理に従事。数多くの大口テナントの誘致、住友不動産神田ビルなどの開発を担当。2015年に広域ビル事業部長、2016年にビル営業部長に就任。大学時代には、体育会アメフト部に所属。学生日本代表にも選出された経験を持つ。



## 百合本 安彦

グローバル・ブレイン株式会社 代表取締役社長

京都大学法学部卒業。富士銀行（現みずほ銀行）、シティバンク・エヌ・エイバイスプレジデントを経て、1998年に当社を創業し、代表取締役社長に就任、現在に至る。日本国内のベンチャー企業支援だけでなく、シンガポール国立大学（NUS）Enterprise Global Mentorを務めるなど、シンガポール政府機関、東南アジアの各大学、メディア、VC、ベンチャー企業等と強いネットワークを保有し、投資先企業の東南アジア進出を徹底的に支援している。

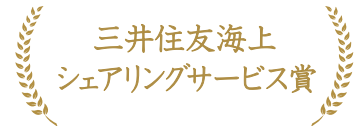
- ・株式会社トライステージ(2178)社外監査役
- ・その他出資先の社外取締役、社外監査役を兼任
- ・経済産業省 新事業創出支援関係者会議委員

## 企業賞について

IIIメンバー等各社から「企業賞」を付与します。

### 三井住友海上火災保険株式会社

#### 設定テーマ1 シェアリングサービス

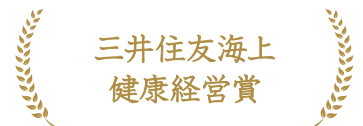


三井住友海上  
シェアリングサービス賞

今後普及が見込まれるシェアリングサービスに関するビジネスアイデアを募集します。

**受賞特典** 実証実験の実施に向けた当社との定期検討会の開催(定期検討会の開催期間は3ヶ月程度を目途とします。)

#### 設定テーマ2 健康経営

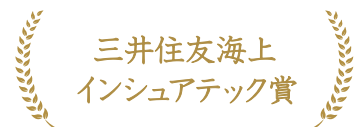


三井住友海上  
健康経営賞

企業が従業員の健康に配慮することによって、業績の向上を目指す「健康経営」をサポートするビジネスアイデアを募集します。

**受賞特典** 実証実験の実施に向けた当社との定期検討会の開催(定期検討会の開催期間は3ヶ月程度を目途とします。)

#### 設定テーマ3 インシュアテック



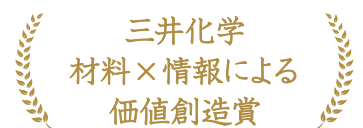
三井住友海上  
インシュアテック賞

「Insurance(保険)」と「Technology(テクノロジー)」の融合により実現できる先進的な保険ビジネスアイデアを募集します。

**受賞特典** 実証実験の実施に向けた当社との定期検討会の開催(定期検討会の開催期間は3ヶ月程度を目途とします。)

### 三井化学株式会社

#### 設定テーマ1 材料×情報で社会課題を解決する



三井化学  
材料×情報による  
価値創造賞

材料だけでも情報だけでもない、2つが融合して初めて実現する先端診断技術や新規診断方法。これらを活用した社会課題解決型イノベーションを募集します。

**受賞特典** 当社のアセットを利用した実証実験、事業連携に向けた検討会の開催

## 設定テーマ2 環境・健康分野で社会課題を解決する

三井化学が目指す未来社会の姿は、「環境と調和した共生社会」「健康・安心な長寿社会」です。SDGsに関わる社会課題解決型イノベーションを募集します。

**受賞特典** 当社のアセットを利用した実証実験、事業連携に向けた検討会の開催

三井化学  
未来社会賞

## ダイキン工業株式会社

### 設定テーマ 生体情報のセンシング

生体情報のセンシング技術や各種データから人の状態を検知する技術を軸に、空調機と連携することで快適性や生産性向上を実現するビジネスアイデアを募集します。

**受賞特典** 実証実験や事業連携に向けた当社との検討会の開催

ダイキン  
ヘルスケア賞

## 住友不動産株式会社

### 設定テーマ 展示・パフォーマンスが魅力的だったチーム

テーマの制限は設けません。住友不動産ベルサールを使って世の中にアピールすることが向いているチームを選定します。

**受賞特典** 住友不動産ベルサールでのイベント開催を住友不動産グループが支援します。

住友不動産  
グッドパフォーマンス賞

## 株式会社日本総合研究所

分野・テーマ問わず、社会に大きなインパクトを与える提案に対し授与します。

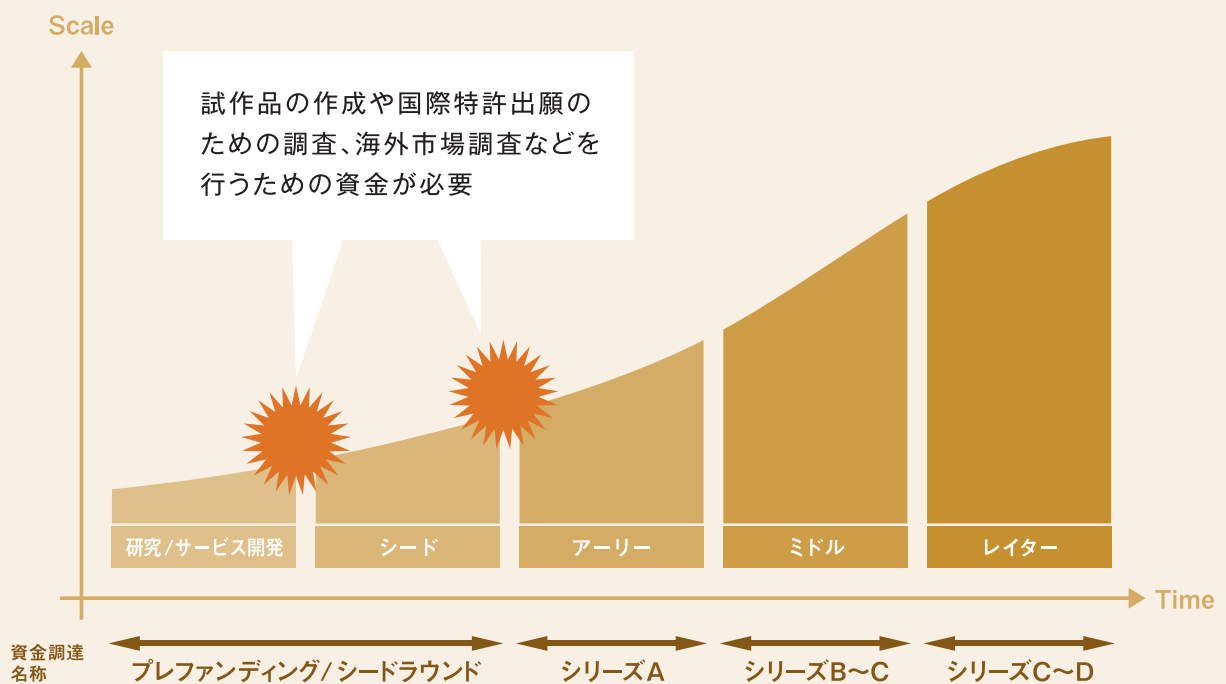
**受賞特典** 事業開発コンサルティングの提供

日本総合研究所  
日本総研賞

### III GAP Grant "MIRAI" について

起業前後の優秀チームに対し、研究/サービス開発段階から事業化の間にあるといわれる『資金面でのギャップ』を満たす支援として、GAP Grantを準備しております。(1チーム上限200万円を予定)

GAP Grant獲得を希望するチームの中から、Grant活用企画書の内容及び最終審査会での審査結果等を踏まえ、特にGrantが必要と思われるチームにGAP Grantを授与いたします。(最大5チーム)





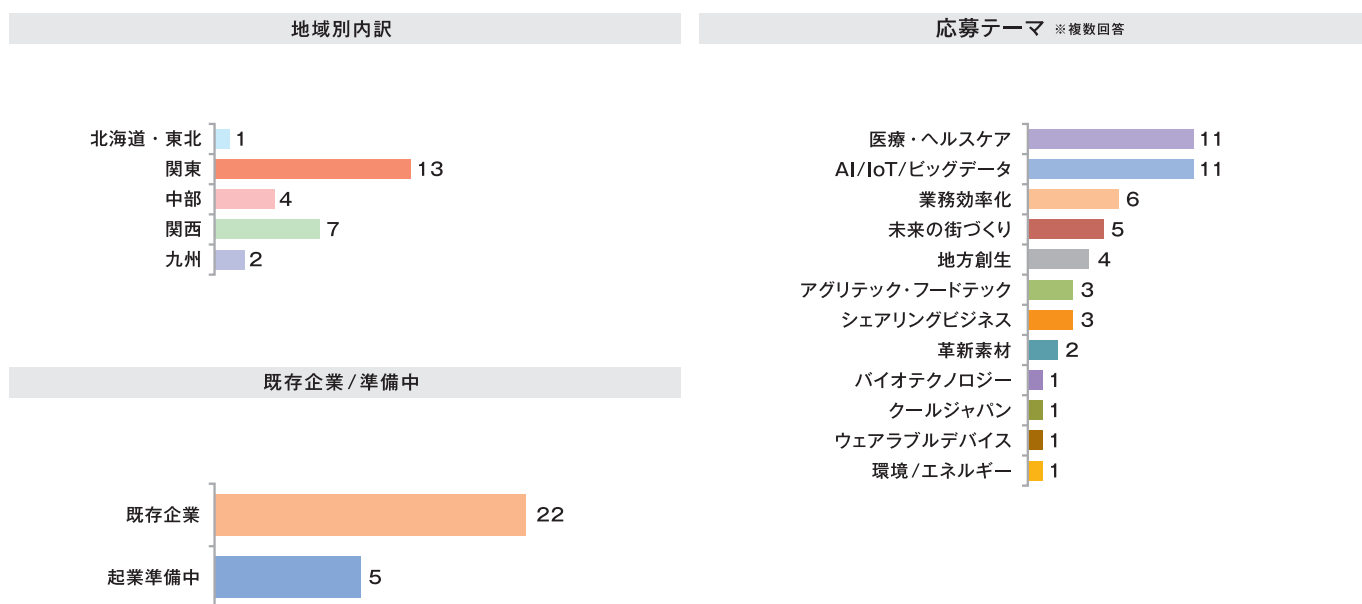
# 未来2019 これまでの流れ

未来2019のスケジュールおよび選抜状況、最終審査出場チームの傾向をご紹介します。

## 未来2019 全体スケジュールおよび選抜状況



## 最終審査会出場チームの傾向





*Incubation &  
Innovation  
Initiative*